

三笠ニュース

発行所
東京都千代田区猿樂町1-4-13
三笠産業株式会社
電話 東京(292)1411 大代表
テレックス 222-4607
郵便番号 101 番
PR 旬報 年4回発行

明けまして新年おめでとうございます。この間のことに思いいます。昨年のわが建設業界は、不況のどん底に陥り、戦後初めての厳しい年でもありました。にもかかわらず、格別三笠製品を御愛用下さいまして誠に有難うございます。お蔭をもちまして、社員一同つがな、新年を迎えることの出来たことは、これ偏に皆様方のあたたかい御愛顧の賜物と、衷心より厚く御礼申し上げます。

最近の海外情報を総合しますと、この景気も本年半ば以降、次第に回復に向かうと言われている。既にご承知のように、アメリカでは、昨年末、公定歩合の引き下げを行い、早やうも金融緩和の方向へと一歩踏み出したようです。

誰しも、景気の良くなることを望まないものはありませんが、既に策である「インフレの克服と経済の

それだけに、日本人を働き過ぎるなどと言われると、何かその裏に日本人の勤労意欲を喪失させるような意図が隠れているのではなかつたかと思ひます。

この意味から、今後の公害や福祉対策に就ても、余り行き過ぎて製品コストを圧迫しないよう日本の国状に即した配慮が望ましいと思ひます。

吾々日本人は、あくまでも、勤勉であるべきです。吾々が祖先から受け継いだものは勤勉でした。昔から『働く者は餓えず』『稼ぐに追いつく貧乏なし』と言われて来ました。勤勉なるが故に、アジア民族の中に在って、どの国よりも優れていると言われ、それがために、先進国として今日もなおその地位が保たれていることを忘れてはならないと思ひます。



昭和五十年の 新春を迎えて

三笠産業株式会社
取締役社長 京谷弘道

て、高度成長時代は石油ショックを安定」を最優先に掲げている以上、諸物価の暴落もまた避けられず、公共料金、全面ストップとまでは行かなくとも、この際、思い切った手直しをしていただかない限り、春の物価の上昇を喰ひ止めることは、この新内閣の下に於ても仲々以てむずかしいのではないと思ひます。

近頃、日本人は働き過ぎるという声がよく耳にしますが、国が狭くて、資源にも食糧にも余り恵まれていない日本人から勤勉を取除いて一体何が残るのでしょうか。戦後僅か三十年足らずで、海外市場にめざましい進出を遂げたのも、その背に勤勉な国民の働きがあったからだと思います。日本製品は安価で、しかも品質が優れていると賞讃されてきたのも、これまた、勤勉努力の賜物に他なりません。

さて、本年から従来の量産体制を改め、弊社本来の生産方針である多種生産体制へと移行してゆくと致しました。これによって、今まで見捨てられていた、隅の隅を見なかつた製品も、久方振りに衣更えして、皆さんのお役に立たせて頂くことになりました。

また、これからの諸工事にマッチするよう新製品の開発にも、全社を挙げて、一生懸命に取り組んで参る所存でございます。

なお、昨年末足りました、本年『三笠巡回サービス展』も、本年一段と内容を充実させて、メーカー、ディーラー、ユーザーの三者一体となった対話の場として発展させたいと思っております。

どうか本年もこの三笠に一層の御指導と御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



三笠製品を前にして、75年の新春を迎えた三笠アメリカ総代理店、マーク・インダストリー社の幹部社員諸氏（カリフォルニア州ロスアンゼルス市ロングビーチ）
（向って左より前列、レービン社長、アービン会長、パトナム副社長、後列、ウェブ営業部長、アンジェルス販促課長、ギャノン整備課長）

MOH-24型

大巾打力アップ成る

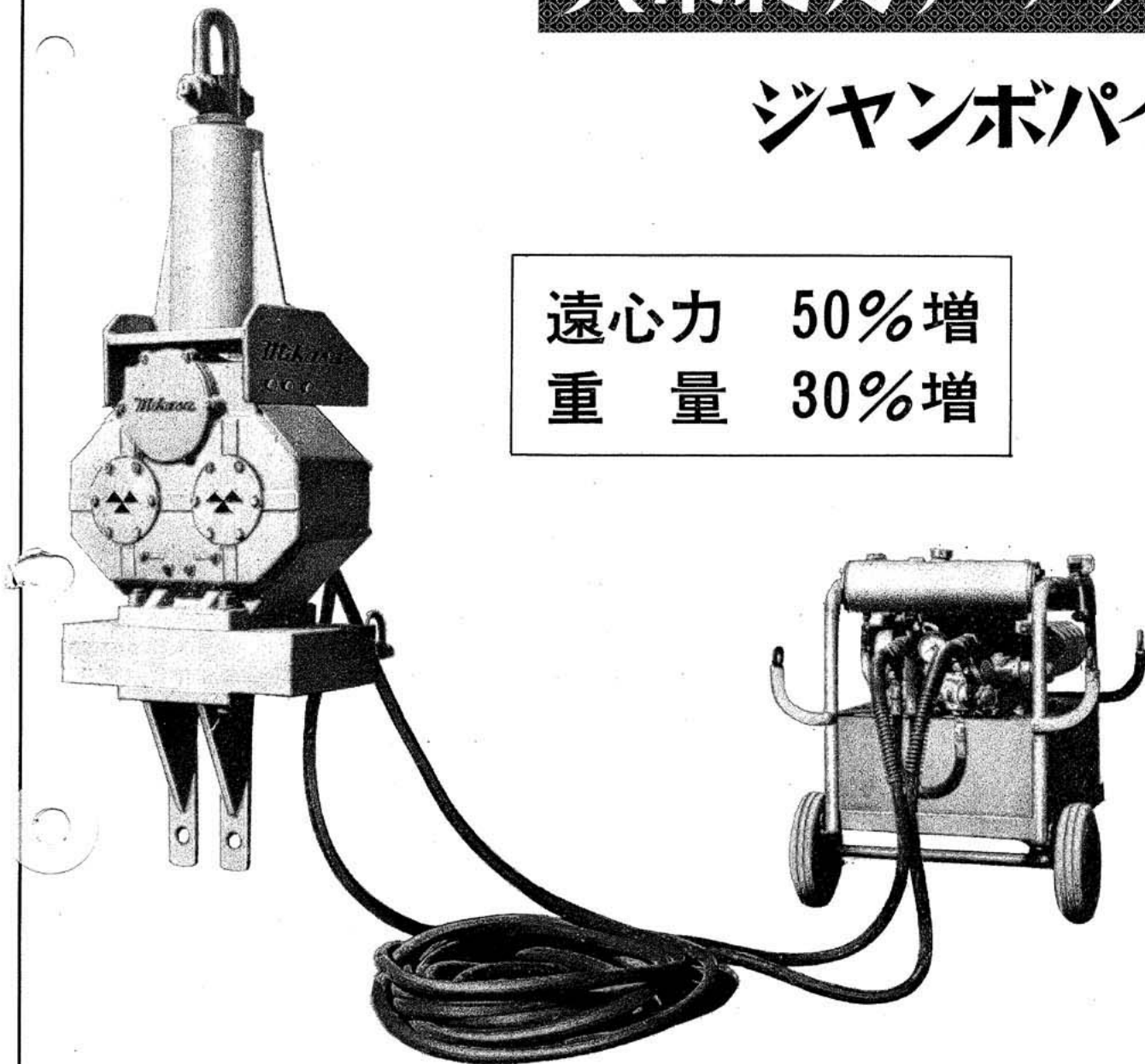
ジャンボパイルハンマー

遠心力 50%増
重量 30%増

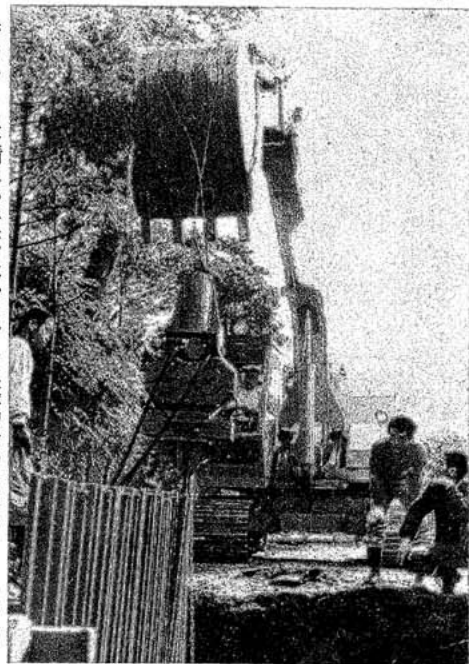
ウェイトアップにより打撃力を強化したジャンボハンマー

弊社が四十五年六月に開発発売した油圧式パイルハンマーは、8型から始まり遂に現在のジャンボ24型のへと打力を増強して、簡易式のものとしては、最高の遠心力を持つ理想的な振動打込機として好評をいただいております。今日まで地質さへ本機にマッチすれば、シートパイルの長さ3米のものを僅か三分以内で容易に打込むことの出来る素晴らしい威力を発揮して居ります。ところが、中には折角御採用いただいても、地質の関係で、最後の僅か五〇センチ位のところで、それ以上どうしても入らないというケースが起きて居ります。このもう一息を何とか強化して貰へないかのご要請が各方面から寄せられて居りましたので、この原動機となるパワーユニットの稼働能力範囲内で、打力アップを計るべく鋭意研究を重ねた結果、ヘッド内の振子を改造して、これを20kg程加重強化させ、更にボデーの下部に100kgのウェイト板をつけて、全体的に120kgのウェイトアップを致しました。その結果従来の打力では、どうしても入らなかったものが、容易に入るようになりました。この打力は、パワーユニットの常重量70kgに対し65kgというギリギリのものですから、なお、これ以上のものとなると、簡易式というイメージには少々縁の遠いものになりそうです。

何れにせよ、ジャンボパイルハンマーの強力型ともいえるべき本機の完成により、今までのご不満が解消されたばかりでなく、更にこれを一歩前進させたことにより、簡易式パイルハンマーの性能が一段と高められたわけです。



パワーアップした MOH-24型の現場テスト



珍らしく日本晴れの好天に恵まれた十一月八日、茅ヶ崎市松ヶ丘の下水道工事現場にてパワーアップしたジャンボパイルハンマーの現場テストが行われた。松林のなかに住宅のある静かな街並の幅の狭い道路一杯に、掘り起されて工事は行われているので足場が悪い。パワーユニットで幅約一・五m深さ三・五mに掘られた溝は底まで砂地である。砂がビッシリ詰っている感じでかなり密度が高そうであり、その上所々に青い色をした地層が見えて手強そうだった。作業は長さ五・五mのエコンII型鋼矢板を地上より〇・五m頭を残すまで打込むのだが、三・五mの深さに掘削してあるので実際の打込量は一・五mとなる。既に28本の鋼矢板は建込みをすませて我々のパイルハンマーに依る打込みを待つばかりになっていた。実はこのうちの数本は頭部にアタッチメントを付けたまま、CB40型ブレイカーで途中で打込まれていて、それから先は容易に入らないのでパイルハンマーの来るのを待っている様子であった。

暫らくはブレイカーの打込作業を見学。不安定な足場の上でブレイカーを操作する作業者は見るからに危なげである。その上に耳をつんざく様な騒音、仕事をすることも大変だが周囲の家もさぞ迷惑なことであろう。鋼矢板の頭がブレイカーの先で叩かれてさくさく立っているのをガヤッと切り取り、パイルハンマーのチャックが入るようにしてからいよいよパワーアップされたMOH-24型役立って今回のテストでははつきりと判った。

敢て意をいえば更に今少し力が欲しい、それには現在のパワーユニットでは限界に達している、一と廻りパワーを大きくして、遠心力を高めることにバイプロハンマーに迫る打力まで上げたいと、わが技術陣は主張している。備

ンボ機の出現によって、今まで悪条件下の土質に悩まされていた本機も、必ずやこれを克服して皆様の御期待にお応えする日の来ることを確信しております。

丸太杭の打込みに威力を発揮

十一月二十七日茨城県鹿島に於いて丸太杭の打込みの現場テストを行った。この日も前回の茅ヶ崎と同様、初冬の日差しがまぶしく良く晴れあがった絶好のテスト日和であった。用水路の改良工事現場が本日のテストの場所である。深さ3mに掘られた用水路の底に直径15cmから18cm、長さ3mの松丸太を2.5m打込む作業だ、現場の土は表面は水気が多い黒土で、軟弱そうに見えが目下使用中のハンマーでは一本打込むのに20分位の時間を要している。



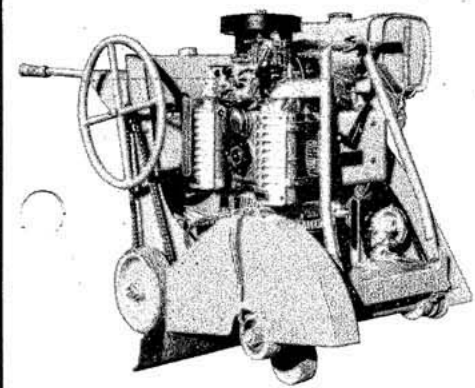
20吋までのブレードが使え、強力型コンクリートカッター出現

最近コンクリートの打設厚がだんだん厚くなる傾向に伴い、切込深さをより深く、また切込速度を早くして能率をあげたいと言う声を聞くようになりました。

この要求に基づき、技術研究所では、この程、MCD-33型コンクリートカッターに搭載してあるロビンEY21型、定格出力10PSのエンジン、より強力なEY802A型定格出力15PSにのせ替えた強力型とも称するものを、製作しました。

主要諸元を左に掲げます。

全長	二一五〇mm
全高	七四〇mm
重量	九三七kg
最大使用ブレード20吋	
最大切込深さ	一九五mm
エンジン	十八馬力(最大)



中道機械産業(株) 本社ビル落成



中道機械産業
(株)本社ビル
と中道喜安
社長

本社設立以来の念願の駐車場に近づくなど、モータリゼーション時代にあふらしい配慮がなされて、一階正面から大理石を使った中世風の露天階段を二階正面へと昇りつめる。このビル自慢のロビーへと導かれる。ここがナカミチの玄関でインフォメーションもここに。ホテル式の広いスペースをもち、このロビーは接客用に利用されて内外の好評を博している。ロビーには常時ソフトライトの照明が流れて、一角には日本式庭園もつらえられて来訪者の目を惹きつけてくれる。また、どなたも目をみはるのがある。エレベーターを降りた右側に常設のナカミチの美術工芸品の陳列コーナーで、これはナカミチグループのうちのポストインダストリアル社が直輸入した展示品であると同時に希望者には即売するという趣向がこめられている。全室をナカミチ及至関係会社、団体で利用している。オフィス内はゆったりとしたスペースで、社員は快適な勤務環境のもとで、さらなる社業発展に向けて頑張っている。



創立50周年を迎えて飛躍する

菅機械工業

(新社長に菅宏副社長就任)



菅
敬一
前社長



菅
宏
新社長

菅機械工業(株)本社、大阪市西区南堀江通三ノ八二では、大正十三年、菅敬一前社長の個人企業として



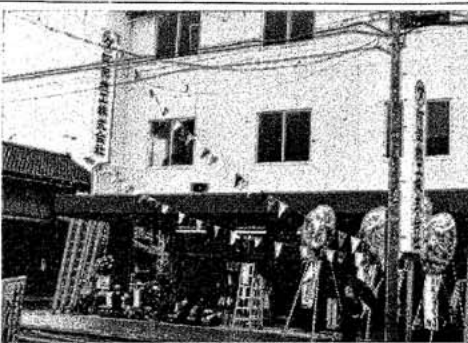
発足以来、満洲、日支の両事案に引続き太平洋戦争に遭遇し、戦後の混乱期を経て、今日まで一貫して建設機械器具の販売一筋に発展し続けて本年で創立五十周年を迎えられることになった。そこで去る、十月七日大阪ロイヤルホテルに於て盛大な記念祝賀パーティが催された。



新営業所と
辻村所長

大垣機工(株)四日市営業所新社屋落成

三笠の庄内地区有力代理店である阿部機工(株)鶴岡市山王町九一三五佐藤繁喜社長殿ではかねてより店舗を新築中とのこと、十一月十日目出た竣工された、新店舗は従来の山王商店街の中心地、鉄筋コンクリート三階建ての明るく近代的な建物として異彩を放っていた。



新社屋と
佐藤繁喜社長

阿部機工(株)店舗新築落成記念 展示即売会開催

百五 台の招待者で盛況を極め、この五十周年を契機に、言葉を申し述べると共に、今後益々の発展を期して格別努力をされることになった。

館林文化会館落成

十月十五日

館林市民待望の文化会館及び図書館がこの程に完成し、十月十五日、市制二十周年を期して、落成記念式典が、関係者多数列席のもとに盛大に挙行された。当社は建設協力者として招かれ、小林工場長が会社を代表して出席した。



(館林城跡三の丸公園の緑に映える館林文化会館)

中道機械産業(株) 中京本部ビル完成



中道機械産業(株)
中京本部ビルと
岸田本部長

中道機械産業(株)中京本部(本社・東京)ではかねてから中京本部ビルを建設中とのこと、この十一月めで完成された。



三洋機械(株)協賛

このたび新たに発足した工場であり、即売場でもあるわけでの三洋巡回サービス展は、従来、こうした使命を背負って、さるの三洋巡回サービス展は、従来、こうした使命を背負って、さる



(二ノ戸市のDAC建築事務所前広場)

三笠巡回サービス展開く

三戸・久慈・宮古・釜石・盛岡

三笠巡回サービス展は、従来、こうした使命を背負って、さるの三洋巡回サービス展は、従来、こうした使命を背負って、さる



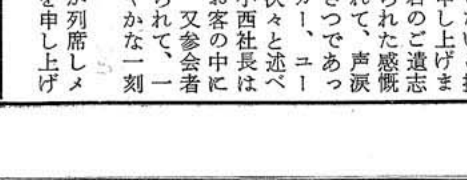
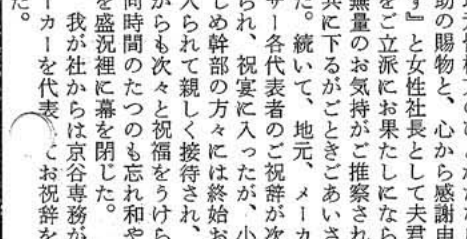
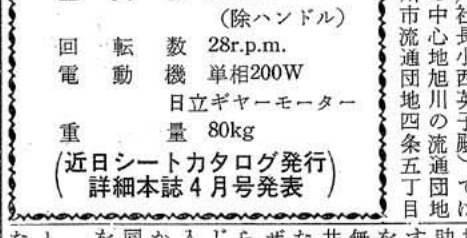
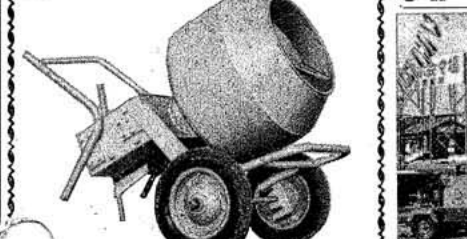
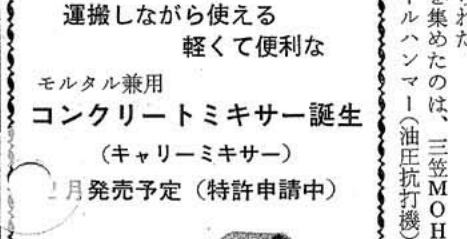
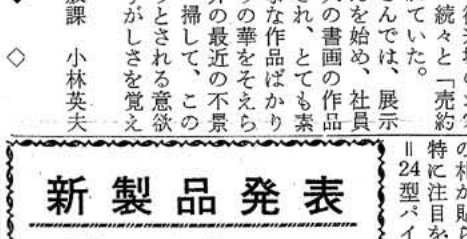
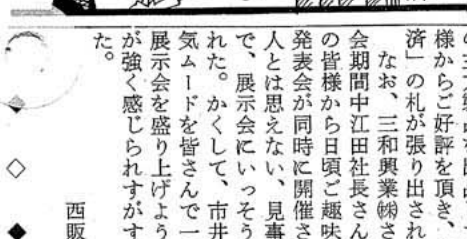
(宮古市の建設業協会 宮古支部前会場)

三笠巡回サービス展は、従来、こうした使命を背負って、さるの三洋巡回サービス展は、従来、こうした使命を背負って、さる



(盛岡市の三洋機械(株)御町センター内会場)

猿楽流三笠丸



宮城県建築士会石巻支部と石巻建設青年会共催による展示即売会が10月5日、6日の2日間、石巻市民会館にて開催された。連日汗ばむ程の秋晴しに、会場は多くの人で賑わった。

建設機械、資材、住宅機器、産業機械、板金機械工具、建材等の総合展示場として、第四回総合展示会が市南本町三ノ二、社長江田高市氏により盛大に開催された。



建設機械、資材、住宅機器、産業機械、板金機械工具、建材等の総合展示場として、第四回総合展示会が市南本町三ノ二、社長江田高市氏により盛大に開催された。

建設機械、資材、住宅機器、産業機械、板金機械工具、建材等の総合展示場として、第四回総合展示会が市南本町三ノ二、社長江田高市氏により盛大に開催された。

建設機械、資材、住宅機器、産業機械、板金機械工具、建材等の総合展示場として、第四回総合展示会が市南本町三ノ二、社長江田高市氏により盛大に開催された。

建設機械、資材、住宅機器、産業機械、板金機械工具、建材等の総合展示場として、第四回総合展示会が市南本町三ノ二、社長江田高市氏により盛大に開催された。

建設機械、資材、住宅機器、産業機械、板金機械工具、建材等の総合展示場として、第四回総合展示会が市南本町三ノ二、社長江田高市氏により盛大に開催された。

建設機械、資材、住宅機器、産業機械、板金機械工具、建材等の総合展示場として、第四回総合展示会が市南本町三ノ二、社長江田高市氏により盛大に開催された。

建設機械、資材、住宅機器、産業機械、板金機械工具、建材等の総合展示場として、第四回総合展示会が市南本町三ノ二、社長江田高市氏により盛大に開催された。

建設機械、資材、住宅機器、産業機械、板金機械工具、建材等の総合展示場として、第四回総合展示会が市南本町三ノ二、社長江田高市氏により盛大に開催された。

不景気なんのその
第五回 馬場長太郎商店見本市
会場 三条市厚生福祉会館 開催日 10月3日、4日
金物、刃物で全国に有名な新潟県三条市で手広く活躍されている馬場長太郎商店では、第五回の展示会を開催された。屋内には家庭金物、空調機器、サッシ、工具、刃物等屋外には三笠製機をはじめ木工機械、電動工具と展示され盛況を極めた。



建設機械、資材、住宅機器、産業機械、板金機械工具、建材等の総合展示場として、第四回総合展示会が市南本町三ノ二、社長江田高市氏により盛大に開催された。

建設機械、資材、住宅機器、産業機械、板金機械工具、建材等の総合展示場として、第四回総合展示会が市南本町三ノ二、社長江田高市氏により盛大に開催された。

建設機械、資材、住宅機器、産業機械、板金機械工具、建材等の総合展示場として、第四回総合展示会が市南本町三ノ二、社長江田高市氏により盛大に開催された。

建設機械、資材、住宅機器、産業機械、板金機械工具、建材等の総合展示場として、第四回総合展示会が市南本町三ノ二、社長江田高市氏により盛大に開催された。

建設機械、資材、住宅機器、産業機械、板金機械工具、建材等の総合展示場として、第四回総合展示会が市南本町三ノ二、社長江田高市氏により盛大に開催された。

建設機械、資材、住宅機器、産業機械、板金機械工具、建材等の総合展示場として、第四回総合展示会が市南本町三ノ二、社長江田高市氏により盛大に開催された。

建設機械、資材、住宅機器、産業機械、板金機械工具、建材等の総合展示場として、第四回総合展示会が市南本町三ノ二、社長江田高市氏により盛大に開催された。

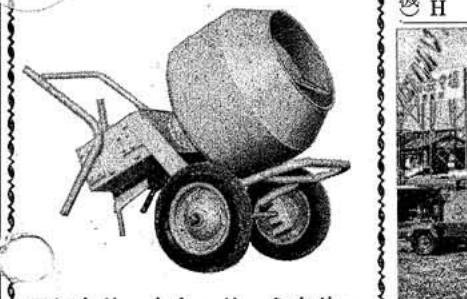
建設機械、資材、住宅機器、産業機械、板金機械工具、建材等の総合展示場として、第四回総合展示会が市南本町三ノ二、社長江田高市氏により盛大に開催された。

建設機械、資材、住宅機器、産業機械、板金機械工具、建材等の総合展示場として、第四回総合展示会が市南本町三ノ二、社長江田高市氏により盛大に開催された。

建設機械、資材、住宅機器、産業機械、板金機械工具、建材等の総合展示場として、第四回総合展示会が市南本町三ノ二、社長江田高市氏により盛大に開催された。

新製品発表

運搬しながら使える
軽くて便利な
モルタル兼用
コンクリートミキサー誕生
(キャリアミキサー)
1月発売予定(特許申請中)



コンクリートキャリアミキサー仕様	
型式	MCM-CH型
練り上り量	0.06m ³ (2切)
全高	920mm
全幅	930mm
全奥行き	690mm
(除ハンドル)	
回転数	28r.p.m.
電動機	単相200W
重量	日立ギヤーモーター 80kg

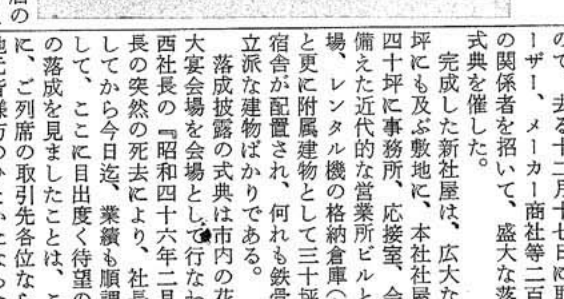
(近日シートカタログ発行)
詳細本誌4月号発表

不況を吹き飛ばした ナカミチ建設機械展

中道機械産業株式会社は、十一月二十一日より二十四日まで、同所にて展示会を開催された。会場は群馬県太田市より伊勢崎へ向うバイパス通りに沿った最寄りの所であり、約六〇坪の広い同社敷地内には、汎用機から重機、産業機械とあらゆる機械のデパートを思わせる程であった。



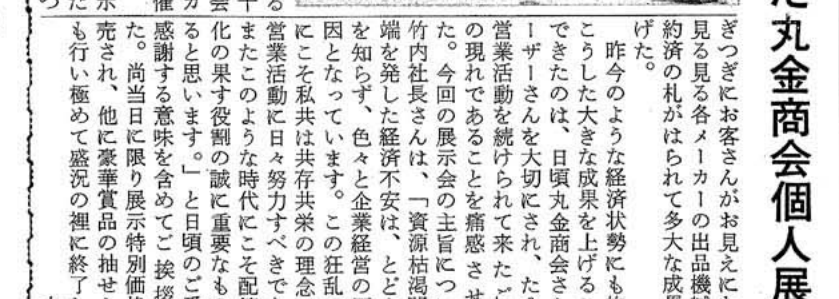
又天候にも恵まれ終日青空のもと、名物赤城風の空も吹かず、お客様を迎えるには何一つ欠けていないものだった。四日間、数百社の来場者数を記録し、受注も三笠製品を初めてとして、汎用機から重機まで、次々に売却の札が貼られた。



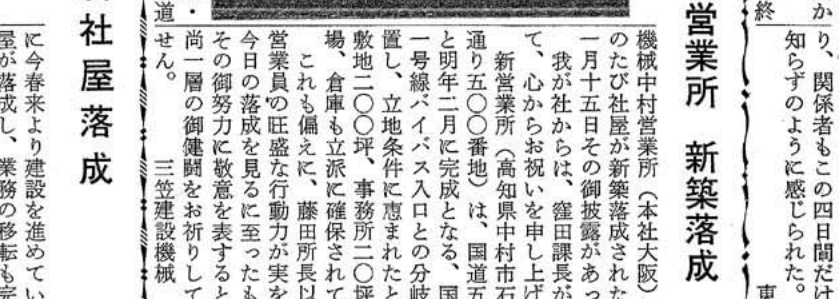
我が社の北海道道央地区代理店の、この程度、中心地旭川の流通団地の一角(旭川市流通団地四四五丁目)に、新築落成した。

大成果を挙げた丸金商会個人展

ぎつぎつにお客さんがお見えになり、見る見る各メーカーの出品機械に売却の札がはられて多大な成果を挙げた。

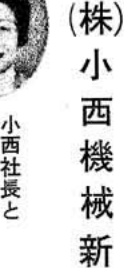


昨今の不景気状況にも拘らず、こうした大きな成果を上げることは、日頃丸金商会さんがユーズンさんを大切にされ、たゆまぬ営業活動を続けてきたご努力の現れであることをご感謝申し上げます。今回の展示会の主旨について、竹内社長は、「資源枯渇問題に端を発した経済不安は、とどまることを止めて、色々と企業経営の圧迫要因となつていきます。この状況の時代こそ私共は共存共栄の理念に基づき、営業活動に日々努力すべきであり、またこのような時代にこそ配管省力化の果たす役割の誠にも重要なものがあると思ひます。」と日頃のご愛顧に感謝する意を含めてご挨拶されました。尚当日に限り展示特別価格で販売され、他に豪華賞品の抽せん会等も行い極めて盛況の裡に終了した。



大沢報

(株)小西機械新社屋落成



小西社長と
新社屋



機械中村営業所(本社大阪)は、このたび新社屋が新築落成されたので十一月十五日の御披露があった。我が社からは、窪田課長が出席して、心からお祝いを申し上げた。

新営業所(高知県中村市石山駅前通り五〇番地)は、国道五十六号線と明年二月に完成となる、国道三二一号線バイパス入口との分岐点に位置し、立地条件に恵まれたところで敷地二〇坪、事務所二〇坪、陳列場、倉庫も立派に確保されている。これも偏見に、藤田所長以下、全営業員の旺盛な行動力が実を結んで今日の落成を見るに至ったものと、その御努力に敬意を表すると共に、尚一層の御健闘をお祈りして止みません。三笠建設機械 上田記